



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社
 コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員最高財務責任者 (氏名) 阿部陽一 TEL 03-5745-3414
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	78,739	△0.0	4,288	3.3	4,313	9.8	2,725	23.7
28年3月期第3四半期	78,767	8.0	4,149	△15.8	3,927	△24.3	2,202	△29.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,586百万円 (-%) 28年3月期第3四半期 △498百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	81.29	81.18
28年3月期第3四半期	65.75	65.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	103,074	53,799	51.0	1,567.86
28年3月期	96,887	52,155	52.8	1,525.09

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 52,566百万円 28年3月期 51,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	27.00	-	28.00	55.00
29年3月期	-	30.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	4.3	7,500	16.2	7,200	17.7	4,500	22.0	134.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料の4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	34,921,242株	28年3月期	34,921,242株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,393,892株	28年3月期	1,397,962株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	33,526,457株	28年3月期3Q	33,497,878株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、企業理念で掲げる経営ビジョン「自動認識ソリューション事業で世界ナンバーワンになる」、そして世界中のお客さまから「最も信頼される企業になる」を実現するため、2016年度を起点とする新たな5カ年の中期経営計画(2016~2020年度)をスタートさせました。本計画では「グローバル化と顧客価値の最大化を追求すること」を基本戦略に、「持続可能な成長力と収益基盤を確立すること」を目指し、グループを挙げて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間におきましては諸施策を推進した結果、日本は増収増益となりました。一方の海外は円高の進行により減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は78,739百万円(前年同期比100.0%)、営業利益4,288百万円(同103.3%)、経常利益4,313百万円(同109.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,725百万円(同123.7%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

<日本>

日本市場においては、製造業やEコマース分野での需要が拡大し、メカトロ製品、サプライ製品ともに売上は前年を上回りました。円高による仕入れコストの減少や、バーコードプリンタの戦略製品「CLNX-Jシリーズ」の販売増などによる粗利率の改善、販管費の効率執行による抑制を進めた結果、営業利益は前年を上回り、利益率も改善しました。

Eコマース分野を含む物流業、製造業を中心に各市場における自動化と効率化の需要は、全般的な人手不足の傾向もあり旺盛です。当社はこれまでお客さまの現場課題を解決してきた個別提案を順次共通パッケージとして商品化しており、それに伴う商談案件数も増加しております。今後更にソリューション力を磨くことで国内市場での安定成長を目指してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は49,843百万円(前年同期比101.2%)、営業利益2,827百万円(同131.7%)となりました。

<米州>

北米市場においては、SATO AMERICA社が大手ドラッグストア向けのラベルビジネスの計画を上回る伸長や、CLNXシリーズをはじめとするバーコードプリンタの販売が引き続き好調で、売上高・営業利益ともに前年を大きく上回りました。SATO GLOBAL SOLUTIONS社は、食材管理用途でプリンタの大口商談があり売上高は前年を上回ったものの、複数の大手グローバル企業と共同で進めるリテール向けデジタルソリューションの開発が遅延し、本格導入が来期となったことから、前年並みの営業赤字となりました。

南米市場においては、2015年11月に連結子会社化したブラジル国内のプライマリーラベル事業大手PRAKOLAR社が同地域の業績に寄与しました。一方でアルゼンチンのACHERNAR社において特定主要顧客への販売が延伸し、その他顧客への販売増でカバーできていないこと、更に同国の通貨下落、消費低迷の影響を受けて、営業利益は前年を下回りました。

これらの取り組みにより、米州の売上高は10,132百万円(前年同期比115.3% [為替影響を除く前年同期比137.4%])、営業利益61百万円(同25.6%)となりました。

<欧州>

欧州市場においては、ロシアでプライマリーラベル事業を手掛けるOKIL-HOLDING社は円高の影響で減収減益となりましたが、現地通貨ベースでは売上を順調に伸ばしております。既存ビジネスについては、ドイツをはじめとする各国でCLNXシリーズの販売台数を大きく伸ばしたほか、各種営業体制強化策が奏功し、現地通貨ベースで増収増益となりました。また2016年3月より稼働を開始したポーランドのラベル新工場を活用し、安定したサプライ製品のリピートビジネス確立に向けた施策を推進しております。

これらの取り組みにより、売上高9,196百万円(前年同期比90.2% [為替影響を除く前年同期比108.9%])、営業利益547百万円(同79.9%)となりました。

<アジア・オセアニア>

アジア市場においては、インド、インドネシア、ベトナムの売上高は、引き続き現地通貨ベースで前年比2桁増となりましたが、その他の中国やタイ、シンガポールなどの主要国においては経済成長が鈍化したほか、日系製造業向けの売上高が伸び悩み、現地通貨ベースで1桁増に留まりました。コスト面では2016年5月にインドネシアにラベル工場を新設し同国でのビジネス強化を図ったため、営業利益は前年を下回りました。オセアニア市場は、販売会社が堅調に営業利益を伸ばしたほか、独自のRFID技術であるPJMを開発するSATO VICINITY社の収益が改善しました。

ARGOX社は市場環境の悪化や新製品投入が遅れたことにより計画未達となりました。現在新たな成長市場の開拓のために営業体制を抜本的に見直し、併せて新製品の投入により、のれん償却後で下期営業黒字化を目指しております。

当社はアジア市場を引き続き成長期待が高く、営業利益の貢献度も高い重要な市場と位置づけております。今期はフィリピンと台湾にそれぞれ販売子会社を設立し、当第4四半期に営業を開始するなど、更なる市場拡大に向け今後も経営資源の投入を検討してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は9,568百万円（前年同期比90.8% [為替影響を除く前年同期比104.4%]）、営業利益790百万円（同65.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、103,074百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,186百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金、有形固定資産が増加したこと等によるものです。

なお純資産は、配当金の支払を行った一方で、為替換算調整勘定が増加したこと等により1,644百万円増加し、53,799百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、18,886百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,674百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,887百万円の増加（前年同期比209.6%）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益4,317百万円、減価償却費2,934百万円及び仕入債務の増加額11,130百万円等であり、主な減少要因は、売上債権の増加額1,047百万円、未払金の減少額9,885百万円及び法人税等の支払額1,334百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,721百万円（前年同期比38.9%）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,216百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、457百万円の減少（前年同期比-%）となりました。

主な増加要因は、長期借入れによる収入5,899百万円であり、主な減少要因は、短期借入金の純減少額3,699百万円及び配当金の支払額1,943百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績につきましては、平成28年11月4日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

（3）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,856	20,823
受取手形及び売掛金	22,460	23,732
有価証券	187	179
商品及び製品	7,264	7,508
仕掛品	422	550
原材料及び貯蔵品	2,795	2,971
その他	3,388	4,219
貸倒引当金	△139	△175
流動資産合計	54,235	59,809
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,146	11,425
土地	5,440	6,591
その他(純額)	9,267	9,161
有形固定資産合計	24,853	27,179
無形固定資産		
のれん	4,596	4,005
その他	6,237	5,626
無形固定資産合計	10,834	9,631
投資その他の資産	6,963	6,454
固定資産合計	42,652	43,264
資産合計	96,887	103,074
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,475	6,845
電子記録債務	—	10,946
短期借入金	7,783	4,080
未払金	13,054	3,267
未払法人税等	947	1,153
引当金	386	436
その他	5,101	6,315
流動負債合計	33,750	33,047
固定負債		
長期借入金	3,935	9,616
退職給付に係る負債	2,212	2,010
その他	4,835	4,600
固定負債合計	10,982	16,227
負債合計	44,732	49,274

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,468	8,468
資本剰余金	7,666	7,775
利益剰余金	37,892	38,666
自己株式	△2,559	△2,659
株主資本合計	51,468	52,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	310	843
退職給付に係る調整累計額	△654	△530
その他の包括利益累計額合計	△342	314
新株予約権	100	99
非支配株主持分	928	1,133
純資産合計	52,155	53,799
負債純資産合計	96,887	103,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	78,767	78,739
売上原価	45,411	45,573
売上総利益	33,355	33,166
販売費及び一般管理費	29,205	28,877
営業利益	4,149	4,288
営業外収益		
受取利息	79	104
受取配当金	2	12
為替差益	—	27
受取賃貸料	73	107
その他	167	176
営業外収益合計	323	427
営業外費用		
支払利息	164	92
為替差損	196	—
売上割引	49	43
持分法による投資損失	—	161
その他	134	105
営業外費用合計	545	402
経常利益	3,927	4,313
特別利益		
固定資産売却益	20	14
特別利益合計	20	14
特別損失		
固定資産除却損	113	6
固定資産売却損	17	3
事業再編損	94	—
前期損益修正損	12	—
特別損失合計	238	9
税金等調整前四半期純利益	3,709	4,317
法人税、住民税及び事業税	1,069	1,721
法人税等調整額	397	△175
法人税等合計	1,466	1,545
四半期純利益	2,242	2,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,202	2,725

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	2,242	2,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△2,829	908
退職給付に係る調整額	88	123
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△218
その他の包括利益合計	△2,741	813
四半期包括利益	△498	3,586
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△337	3,381
非支配株主に係る四半期包括利益	△161	204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,709	4,317
減価償却費	2,927	2,934
のれん償却額	890	881
固定資産売却損益(△は益)	△2	△10
固定資産除却損	113	6
事業再編損	94	—
引当金の増減額(△は減少)	17	△26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	△80
受取利息及び受取配当金	△82	△116
支払利息	164	92
為替差損益(△は益)	△287	74
売上債権の増減額(△は増加)	△225	△1,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△460	△449
仕入債務の増減額(△は減少)	△254	11,130
未払金の増減額(△は減少)	134	△9,885
その他	△1,111	275
小計	5,651	8,105
利息及び配当金の受取額	79	116
利息の支払額	△152	△92
事業再編による支出	△94	—
法人税等の支払額	△2,198	△1,334
法人税等の還付額	—	91
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,285	6,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,543	△2,590
定期預金の払戻による収入	1,419	2,332
投資有価証券の取得による支出	△2,109	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,753	—
有形固定資産の取得による支出	△3,621	△3,216
有形固定資産の売却による収入	98	34
無形固定資産の取得による支出	△641	△507
事業譲受による支出	△176	—
その他	△235	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,563	△3,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,397	△3,699
長期借入れによる収入	1,032	5,899
長期借入金の返済による支出	△199	△190
自己株式の売却による収入	—	500
リース債務の返済による支出	△1,104	△518
配当金の支払額	△1,737	△1,943
その他	64	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,452	△457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△354	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,179	2,674
現金及び現金同等物の期首残高	17,145	16,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,966	18,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	49,241	8,789	10,196	10,540	78,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,295	35	238	6,009	10,579
計	53,536	8,824	10,434	16,550	89,346
セグメント利益	2,147	242	685	1,199	4,274

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,274
セグメント間取引消去	1
のれんの償却額	△42
棚卸資産の調整額	△82
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	4,149

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、前々連結会計年度にOKIL-HOLDING, JSCの株式取得に伴い暫定的に算定されたのれん 2,611百万円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことから、1,136百万円に変動しております。

「米州」セグメントにおいて、前第3四半期連結会計期間にPRAKOLAR RÓTULOS AUTO-ADESIVOS S. A.の株式取得に伴い暫定的に算定されたのれん 2,088百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	49,843	10,132	9,196	9,568	78,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,113	42	169	5,665	9,991
計	53,956	10,174	9,366	15,234	88,731
セグメント利益	2,827	61	547	790	4,227

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,227
セグメント間取引消去	△7
のれんの償却額	△12
棚卸資産の調整額	82
その他の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業利益	4,288

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。